

1. 朝鮮学校児童・生徒らに対する暴行・暴言事件や卑劣で陰湿な嫌がらせが繰り返され、学生らはかつてない恐怖に怯えています。

7月5日～10月19日現在
 総被害数 **169件**

- ① 7月5日ミサイル発射報道後、約1週間の間に暴行4件、暴行未遂1件、暴言5件、その他嫌がらせ12件、施設破損2件、脅迫電話30件、無言電話56件、誹謗メール10件、全120件の被害が発生。
- ② 10月3～13日までの間に、施設破損1件、脅迫電話35件、無言電話11件、その他嫌がらせ2件、全49件の被害が発生。



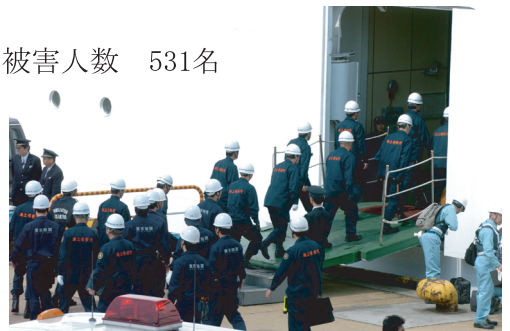
各地朝鮮学校で備品、施設破損などの被害が相次ぐ

2. 十数年間事故なく航行を続けてきた人道の船である「マンギョンボン-92」号の不当な入港禁止措置によって、この何ヶ月の間に、肉親との再会を切実に望む高齢者や学生、飛行機による渡航が困難な障がい者など、多くの在日朝鮮人の母国への渡航に支障をきたしています。

7月5日の「制裁」措置以降の朝鮮渡航に関する被害総数 **1,025名**

- ① 母国訪問中断を余儀なくされた人数 494名
- ② 「マンギョンボン-92」号乗船予定の朝鮮学校学生らの被害人数 531名

※飛行機便による母国訪問の場合、10万円以上の負担増。



(上) 「マンギョンボン-92」号に対する過剰な検査
 (下) 政府の制裁措置に反対する日本人市民グループ



3. 法務省は全国の入国管理局に、朝鮮籍者の海外渡航を制限する通達を出し、在日朝鮮人の母国への自由往来や海外渡航の権利を脅かしています。

7月5日以降、在日朝鮮人に対する再入国許可申請及び出入国時に次のような不当な取り扱いが行われている。

- ① 「北朝鮮当局職員の再入国禁止」によって、基本的人権である母国往来の権利が著しく侵害されている。
- ② 従来の「数次」再入国許可の即日交付が、複数回の旅行計画書の提出なしには行われず、「一回限り」に制限されている。
- ③ 出入国時に過剰な荷物検査や執拗な質問など罪人を扱うかのごとき差別的対応を行っている。



(上) 名古屋入国管理局に抗議する在日朝鮮人
 (下) 法務省渡航自粛要請 (HPより抜粋)

我が国からの北朝鮮への渡航自粛について

7月5日未明より複数回にわたり、北朝鮮が弾道ミサイルが発射されました。北朝鮮による今回の弾道ミサイル発射は、我が国の安全保障や国際社会の平和と安定、さらには北朝鮮の人権問題など、重大な問題であり、船舶・航空機の航行の安全に支障を及ぼすおそれがあります。つきましては、北朝鮮への渡航・滞在を自粛し、渡航を自粛してください。

4. 朝鮮総聯中央本部など各施設に、連日連夜右翼が押しかけ、職員に対する威嚇・業務妨害や、放火、破壊などのテロ行為が平然と行われています。

●被害状況 (2006年7月5日～10月31日現在)

①朝鮮総聯各機関に対する破壊、テロ行為 (8件)

総聯中央会館	9/16	脅迫事件。議長宛に鹿児島島の男から自分の小指を切断したものと、脅迫文と一緒に送付される。
総聯神奈川湘南西湘支部	8/2	放火未遂事件。事務所前の花壇に放置されていた自動車のエンジンオイル缶が着火。中には油とガスボンベ2本と紙や布が入っていた。建物前の歩道に「テポドン発射記念、お申元お届けします」とカタカナで書かれたタオルが置かれていた。
総聯茨城県本部	10/11	本部会館にペンキの入った飲料水ボトルが投げつけられ、中庭が汚された事件。
総聯三重県本部	10/17	本部会館敷地内の竹林で不審火。50㎡焼失。
総聯滋賀県本部	8/13	湖東支部能登川分会事務所に不法侵入。掲示板と分会の看板を破損し、近くの川に投棄。
総聯山口県本部	9/4	本部駐車場に不法侵入。駐車してあった車を破損し、車内にゴミを投棄。
	9/5	本部会館にバイクに乗った者が缶、ビンが入ったゴミ袋を投棄し逃亡。



②その他

総計	騒乱	脅迫文、抗議文	破壊、テロ行為
123回	38通	8件	

※被害を受けた地域及び機関

総聯中央本部、東京、神奈川、千葉、埼玉、茨城、北海道、宮城、岩手、愛知、岐阜、三重、大阪、兵庫、京都、滋賀、広島、山口、岡山、熊本、鹿児島、朝鮮出版会館(東京)